

平成28年度 第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 平成29年2月2日(木)午後2時30分～

開催場所 学校給食センター2階多目的会議室

出席者 (1) 委員：鈴木吉久委員長、関和久副委員長、横井隆子委員、
仲代直美委員、引田満委員、高橋正彰委員、
山口夏子委員

(2) 事務局：石黒茂学校教育課長、仲田政樹給食管理室長、
畠山努室長補佐、後野真弥主査、石関直人栄養職員

欠席者 山田邦子委員、沓名輝政委員、浅海靖弘委員、堀内裕子委員

傍聴者 なし

1 開 会

鈴木委員長：第3号委員の南部小学校PTA会長沓名輝政委員が欠席のため、代理として、南部小学校PTA副会長櫻井美智子氏の出席を認めます。

2 議 題

会議録署名人の選出について

会議録署名人を横井隆子氏、仲代直美氏に指名(名簿順)

(1) 平成28年度学校給食センターの運営状況について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等> 質疑無し

(2) 平成28年度第2・3四半期学校給食センターPFI事業モニタリングについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員：センター内で働いている人がノロウイルスになった場合は決まりがあるのか。

事務局：調理委託会社では、毎日の健康記録とともに、ノロウイルスの流行する時期に3回ノロウイルス検査を実施し、陰性かどうか状況を把握するようにしている。さらに、危機管理マニュアルをもとに、本人がノロウイルスになった場合は、検査にてウイルスの陰性が確認されるまでは出勤を停止とし、また、家族がノロウイルスになった場合は、その症状が確認されなくなり、かつ本人が検査にてウイ

ルスの陰性が確認されるまで出勤を停止している。

市の職員、県の栄養士については、健康管理簿にて毎日健康状況を把握している。また、栄養士については調理委託会社同様にノロウイルスの流行る時期に3回ノロウイルス検査を実施し、陰性の確認を行っている。市の職員については、調理場に入らないことから、実施していない。

(3) 平成29年度の学校給食献立年間計画について

事務局より資料に沿って説明

＜質疑等＞

関副委員長：献立作成にあたって、旬の食材やイベントを取り入れる等工夫をされている。校長は毎日、給食の検食を行っているが、その際に書いている検食簿を学校給食センターで活用し、味の確認や次の献立を活かせるようにするといいいのではないか。

事務局：現在、小学校2校と中学校1校の校長先生から検食簿をいただき、参考にさせていただいている。

関副委員長：それで十分だと考える。

櫻井委員代理：PTAで、給食の写真が見たいという話があった。

事務局：鎌ヶ谷市学校給食センターのホームページがあり、給食の写真を毎日掲載している。市のホームページの施設案内から見るができる。

仲代委員：中学校1年生～3年生で給食の量が違うのか。

事務局：中学校では、全学年同じ量を提供している。

仲代委員：体育の持久走が5時限目にある時は、給食を残すことがあるが、全体的によく食べている。みそ汁にたくさん野菜が入っているのは、とても良いと思う。以前よりもご飯の回数が増えたと感じる。

事務局：旧学校給食センターでは、食器の数の関係で、2日続けてご飯を出すことができなかったが、新センターになってからは、ご飯の提供回数が増え、現在は週3回ほど提供している。来年度は、週3.5回の提供を目安にしていきたいと考えている。

山口委員：健康増進課においても、年に1回学校に行き、食育に取り組んでいる。連携がとれるといいと思う。

高橋委員：給食だよりの内容を、学校の授業の中で、5分から10分ほど話してもらえるといいのではないか。養護教諭から、箸の持ち方が違う子や、食べる順番を知らない子が多いと聞く。基本的なことを教えられたらいいのではないか。

関副委員長：それについては、学校で取り組んでいるところも多いと思われる。給食だよりの内容については、給食の時間の放送で流している学

校もある。

- 事務局 : 学校と連携を図りながら進めていきたいと考える。
- 引田委員 : 鎌ヶ谷産野菜を使っているとのことだが、野菜が苦手な子が多いと思われる。野菜を食べられる工夫ができるといい。
- 横井委員 : ご飯は、お箸で食べているのか。市川市では、お箸を持参している。
- 事務局 : 新センターになってから、お箸を出している。それまでは、家からお箸を持って来てもらっていた。
- 横井委員 : 献立名に、子どもたちが興味を持てるタイトルがつくといいと思う。

(4) その他

①平成29年度食物アレルギー対応(除去食)について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

- 引田委員 : 学校給食では、小麦を除いたものを提供するの難しいのか。
- 事務局 : 小麦を除いた除去食提供は、まだ先の予定のため、本格的な調査をしていないが、小麦が入っているものが多いので、難しいと考えている。

②平成29年度こどもイベントについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

③給食アンケート結果について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

④残食残滓からの肥料について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

関副委員長 : 1月15日号の市広報に掲載されていた梨剪定枝から作った肥料を申し込んだ学校がいくつかある。欲しい学校はあると思う。

事務局 : 残食残滓の肥料を食育の一環として、活用して欲しい。

3 閉 会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成29年 2月 27日

署名人 横井 隆子

署名人 仲代 直美